

成果報告書

地域文化倶楽部(仮称)創設支援事業

団体名	ジュニアジャズオーケストラおきなわ		
所在地	沖縄県那覇市	設立年	2016年
運営主体	一般社団法人 琉球フィルハーモニック		
事業目標	子どもたちにとってルーティン化された活動として週2回の練習会や、発表の機会を設ける。また、活動施設や地域の関連団体との運営会議などを通して対象児童の現状に即した運営体制の構築を図る。		
きっかけ	地域の小学校において、金管バンド部の指導を十分にできる教諭がいないために、年間を通した子どもたちの音楽活動ができていない現状を知り、学校や家庭以外の居場所として、プロのジャズミュージシャンから指導を受ける環境を2016年から整えて来ました。 全国的にも珍しい小学生のビッグバンドが、子どもたちにとって、楽器や音楽に触れる居場所として、放課後の活動の選択肢として、地域で活動する文化活動となりえるのではないかと考えました。		
団体・組織等の連携	那覇市教育委員会 NPO法人地域サポートわかさ 那覇市若狭公民館 那覇市立若狭小学校 那覇市立那覇中学校 若狭小学校区まちづくり協議会 沖縄県吹奏楽連盟 沖縄県ジャズ協会		
活動場所	那覇市若狭公民館(那覇市若狭2丁目12-1) 3Fホール		
活動概要	那覇市若狭公民館ホールを会場に、那覇市立若狭小学校、曙小学校、泊小学校、那覇小学校、天妃小学校の児童対象に、子どもたちに接する上で必要な研修を受けた有償のプロのジャズミュージシャンと、OB等のボランティア指導員によるジャズビッグバンドの活動を、運営事務局が運営する。		

○本事業による成果

対象小学校の校長先生との会議機会が持てたことにより、学校の現状がリアルタイムに把握でき、スタッフや講師のメンバーへの対応に活かすことができた。

校長先生の活動に対する理解が深化したことにより、コロナ禍以降の学校での取り組みとして、講師によるコンサート開催の提案があるなど、積極的な関わりを得ることができ、連携体制の強化につながった。

講師やスタッフの研修として、コロナ禍の児童にみられる精神的影響や、発達状況に合わせた指導に役立つ情報を得ることができ、日々の指導における質の向上につながった。

スタッフの育成が実現できたことにより、メンバーの変化への対応にも安定性が増し、更にOBフェローとの信頼関係も構築できた。

○児童・生徒への指導に関する工夫

プロのジャズミュージシャンと運営スタッフ対象に年2回の研修を開催し、子どもの発達状況に対する接し方の研修を行う。

プロのジャズミュージシャンの指導料を有償にすることにより、継続的な指導が担保される。

運営スタッフの見守りにより安全確認を実施し、楽器の指導に専念する講師の負担を軽減する。

自発的な活動を尊重し子どもたちにとって居心地のいい環境を整える。

○運営上の工夫

地域に密着した活動及び関係形成のため、参加児童の学区まちづくり協議会へ参加し関係性を深め、地域の祭りなどに参加することにより認知度が上がることを目指す。

プロのジャズミュージシャンの出席スケジュールの管理ができ、担当楽器の講師が楽器指導に専念し子どもたちの精神的な変化にも安心して対応できる環境体制の構築が整っている。

運営スタッフの役割分担ができ、講師の出席確認や保護者対応、メンバーの出席状況管理や会場管理者への報告作業にSNS広報、メンバーの安全確認と専門性を活用した連携体制が構築できた。

○継続的な運営に関する課題・展望

対象小学校の児童にとって、例えばマスクの強制がなくなっても外したくないなど、今後、新型コロナの影響がどのように残っていくかに留意して子どもたちに接するという課題が考えられる。

また、子どもたちの参加料が無料であることを担保するために、講師料や楽器修繕費、そしてスタッフ人件費などの必要経費をまかなう安定的な資金確保が課題である。

その一方で、活動8年目となる次年度には、初年度6年生だった学年が高校を卒業し、大学や社会に出ていく年齢となるので、OBフェローが中高生だったこれまでとは違う関わりが期待される。

今後、コロナ前のような商業施設のイベントなども再開することにより発表の機会が増え、地域社会に露出することで、地域での認知度が増し、地域文化活動として定着する展望が開ける。

○令和5年度からの学校部活動の段階的な地域移行に関する方針・提案

方針①今年度、学校長による活動への理解が深まったことにより、次年度は、学校内での広報活動が児童の状況にあわせてきめ細やかに実施可能となる。

②学校内の活動との連携ができ、期間限定の金管バンドなどの部員が、楽器の上達やジャズ体験の中で達成感と自己肯定感が向上、文化活動への積極的な参加が実現する。

③学校行事との連携が可能となると、本格的な地域移行が実現できる。

提案: 学校内部活と競合しない形態の活動により、学校教師の負担がない提案型の地域文化活動の事例として他地域へ広める方向性を提案する。

○令和4年度 取組状況等

参加者	人数等	25名
	学校名	那覇市立若狭小学校、曙小学校、那覇小学校、泊小学校、天妃小学校
	募集方法	募集イベントとして、講師によるコンサート&楽器体験会を開催。並行して、募集チラシを作成し、地域エリアにポスティングで配布。(当時のコロナの影響により、学校での配布に学校長の難色を示したため)
指導者	人数等	6名
	募集方法	継続している活動なので固定のメンバーにて実施している。入替や代理が必要な場合は、運営事務局による選出後、個別に声かけし依頼。
参加者の移動手段		徒歩、保護者等による送迎
活動費用	指導者謝金等	1回 指導時間1時間 3,500円/1名
	その他	運営スタッフ人件費 運営スタッフ交通費 楽器修繕費 活動専用端末の通信費 消耗品費
活動財源	会費	無料
	その他	当該委託料 教育財団などからの助成金や補助金の活用。 一般からの寄付。 不足する場合は法人負担。
スケジュール	基本活動	毎週2回、木曜日(17:00~18:30)、日曜日(14:30~16:00)
	年間	募集イベント(例年5~7月頃) 地域イベント出演(随時、年4回) 発表会(例年2月下旬~3月上旬)
保険加入等		例年は、年度初めにほぼメンバーが確定していたため、その時点で保険加入できていたが、今年度は新型コロナの影響により、メンバー確定のタイミングが遅れたために、事業独自の保険加入はせずに、法人加入の保険により対応することとした。

【活動の様子（写真添付）】

写真候補案：練習会、本番、フェローとの様子、研修会、
地域との関わり(第2回運営会議、まち協)の6種



写真1:練習会



写真2:フェローによる指導



写真3:公民館まつり



写真4: 検討・運営会議

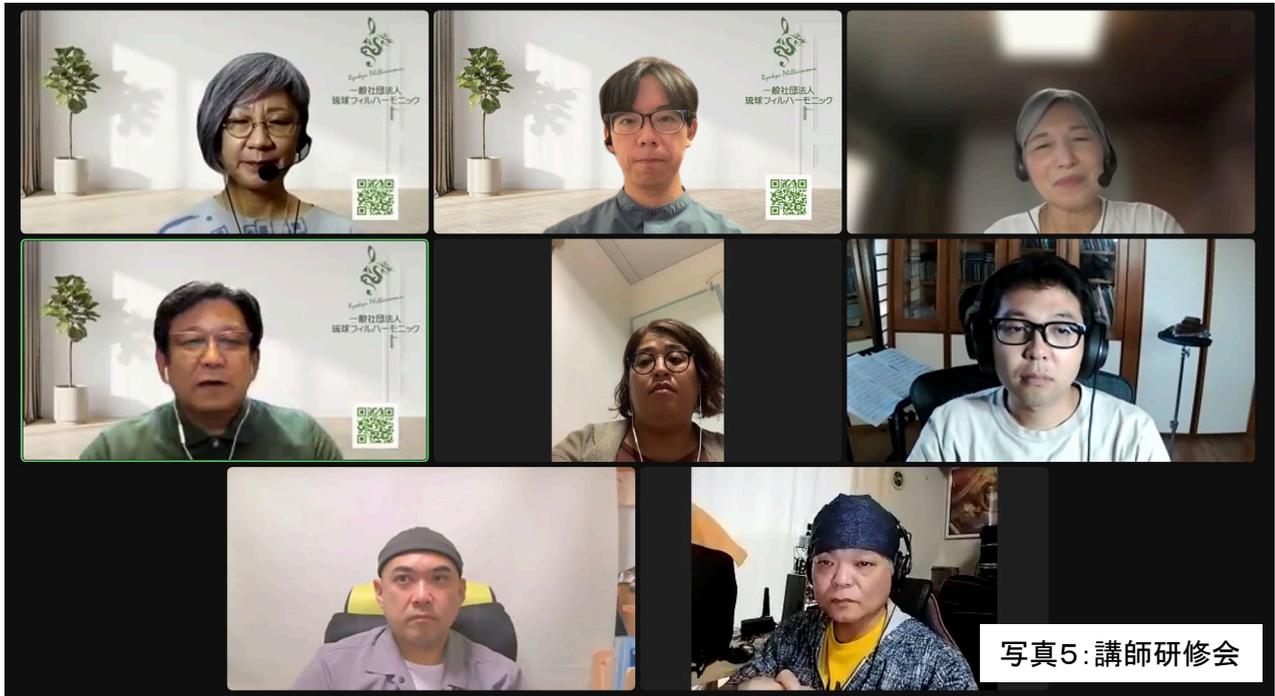


写真5: 講師研修会